

《化学専攻 博士課程前期》

令和6年度4月入学生を募集する専修部門と主指導教員及び主な研究内容

専修部門	主指導教員	主な研究内容
物質機能化学	准教授 博士(理学) 石川 立太 准教授 博士(理学) 栗崎 敏	分子凝集系の合成と構造および機能解析
構造物理化学	教授 博士(学術) 勝本 之晶 准教授 理学博士 仁部 芳則 准教授 博士(工学) 吉田 亨次	物質の構造・機能の量子化学および複雑流体の物理化学
有機生物化学	教授 博士(工学) 松原 公紀 准教授 博士(理学) 塩路 幸生	合成有機化学および有機金属化学
機能生物化学	教授 博士(医学) 倉岡 功 教授 博士(理学) 小柴 琢己 准教授 博士(エネルギー科学) 福田 将虎	細胞・遺伝子・タンパク質の化学
ナノ化学	教授 理学博士 川田 知 教授 博士(工学) 林田 修	ナノ構造を有する化合物の合成と構造・機能解析
元素化学	准教授 博士(工学) 長洞 記嘉	典型元素を含む物質の合成と性質解明
化学教育学	准教授 博士(学術) 松岡 雅忠	より安全かつ簡便に実践できる化学実験教材の開発研究

授業科目, 単位, 担当者及び履修方法, 主な研究内容 (令和5年度現在)

※令和5年度開講科目は, シラバス (授業内容含む) をWebで公開しております。「電子シラバス 福岡大学」で検索の上, 参照ください。

主要科目

専修部門	授業科目	単位数	担当者	主な研究内容
物質機能化学	物質機能化学講究Ⅰ	4	准教授 博士(理学) 石川 立太 准教授 博士(理学) 栗崎 敏	分子凝集系の合成と構造および機能解析
	物質機能化学講究Ⅱ	4		
	物質機能化学特別実験	10		
構造物理化学	構造物理化学講究Ⅰ	4	教授 博士(学術) 勝本 之晶 准教授 理学博士 仁部 芳則 准教授 博士(工学) 吉田 亨次	物質の構造・機能の量子化学および複雑流体の物理化学
	構造物理化学講究Ⅱ	4		
	構造物理化学特別実験	10		
有機生物化学	有機生物化学講究Ⅰ	4	教授 博士(工学) 松原 公紀 准教授 博士(理学) 塩路 幸生	合成有機化学および有機金属化学
	有機生物化学講究Ⅱ	4		
	有機生物化学特別実験	10		
機能生物化学	機能生物化学講究Ⅰ	4	教授 博士(医学) 倉岡 功 教授 博士(理学) 小柴 琢己 准教授 博士(エネルギー科学) 福田 将虎	細胞・遺伝子・生体高分子の化学
	機能生物化学講究Ⅱ	4		
	機能生物化学特別実験	10		
ナノ化学	ナノ化学講究Ⅰ	4	教授 理学博士 川田 知 教授 博士(工学) 林田 修	ナノ構造を有する化合物の合成と構造・機能解析
	ナノ化学講究Ⅱ	4		
	ナノ化学特別実験	10		

元素化学	元素化学講究Ⅰ	4	准教授 博士(工学) 長洞 記嘉	典型元素を含む物質の合成と性質解明
	元素化学講究Ⅱ	4		
	元素化学特別実験	10		
化学教育学	化学教育学講究Ⅰ	4	准教授 博士(学術) 松岡 雅忠	より安全かつ簡便に実践できる化学実験教材の開発研究
	化学教育学講究Ⅱ	4		
	化学教育学特別実験	10		

特修科目

部 門	授 業 科 目	単位数	部 門	授 業 科 目	単位数
非 専 修	物質機能化学特論Ⅰ	2	非 専 修	科学教育研究特論	2
	物質機能化学特論Ⅱ	2		科学哲学特論	2
	物質機能化学特論Ⅲ	2		物理教育学特論	2
	構造物理化学特論Ⅰ	2		物質機能化学特別講義Ⅰ	1
	構造物理化学特論Ⅱ	2		物質機能化学特別講義Ⅱ	1
	構造物理化学特論Ⅲ	2		構造物理化学特別講義Ⅰ	1
	有機生物化学特論Ⅰ	2		構造物理化学特別講義Ⅱ	1
	有機生物化学特論Ⅱ	2		有機生物化学特別講義Ⅰ	1
	有機生物化学特論Ⅲ	2		有機生物化学特別講義Ⅱ	1
	機能生物化学特論Ⅰ	2		機能生物化学特別講義Ⅰ	1
	機能生物化学特論Ⅱ	2		機能生物化学特別講義Ⅱ	1
	機能生物化学特論Ⅲ	2		ナノ化学特別講義	1
	ナノ化学特論Ⅰ	2		元素化学特別講義	1
	ナノ化学特論Ⅱ	2		化学教育学特別講義	1
	元素化学特論	2		適応構造生物学特別講義	1
	化学教育学特論	2		適応機能生物学特別講義	1

- 1 学生は、主要科目のうちから1専修部門を選定し、これをその学生の専修科目とする。
- 2 学生は、専修科目担当者のうちの1人を主指導教員とし、専修科目及び専修科目以外の科目の選定並びに学位論文の作成、その他研究一般についてその指導を受けるものとする。
- 3 前項のほか、学生は、主指導教員が定めた副指導教員の指導も受けるものとする。
- 4 学生の標準修業年限は2年とし、所定の授業科目について、合計30単位以上を修得しなければならない。
- 5 前項の30単位以上は、専修科目18単位（講究8単位、実験10単位）及び特修科目12単位以上とし、主指導教員が必要と認めた場合、他の専攻又は研究科の授業科目を履修し、これを特修科目の単位にあてることができる。
- 6 学生は、主指導教員を主査として、専修科目について修士の学位論文を提出し、論文審査及び最終試験に合格しなければならない。